

南畑地区公民館運営審議会会議録

所管課 南畑公民館

会議名	平成23年度 第3回南畑地区公民館運営審議会
開催日時	平成24年3月14日(水) 午後 7 時 から 午後 9 時 45 分まで
開催場所	南畑公民館 会議室
出席者	審議会委員：新井幸雄氏、長堀善光氏、秋元富美子氏、栗原利江氏 事務局：木村館長(説明)、中田(司会)
会議次第	別添のとおり
会議資料	別添のとおり

開 会

1 あいさつ

新井幸雄議長：今期で任期満了となるため、本日の会議は現委員で行う最後の地区会議となる。これまでお世話になり御礼申し上げます。

議 題 (1) 平成24年度南畑公民館予算について

3月議会で本日、可決された。12月の審議会時に説明したものとほぼ変わらず。耐震設計の額と、FAXを備品で購入することになった点の変更点。

(2) 平成23年度南畑公民館事業報告兼事業評価について

平成23年度に実施した事業について館長から説明がある。以下、各事業についての公運審さんの意見や質疑。事業報告兼事業評価については、毎年5月ごろ「富士見の公民館」(冊子)として発行されるもの。

<質疑応答>

・子育てサロン「ちびっこあおむし」

木村館長) 1歳6か月から2歳6か月のお子さんのいる方を調査し、対象となる24名の方にサロンの案内を配布した。24年度も引き続き行っていきたい。

・なんばた学級(高齢者支援事業)

木村館長) 今年度、童謡クラブが追加され15クラブとなる。予算上、講師謝礼が増やせないでいる。講師謝礼の不足分は学級費でまかなう。また24年度は学級費を1000円から1500円に変更することになっている。

新井議長) 学級生の平均年齢は? 60代の方が少ないようなので、そうした方を対象にした事業を考えてほしい。また学級の対象年齢を引き上げたらどうか。

木村館長) 限られた予算の中でどの世代に重点をおいて事業を展開するか。検討していきたいが、予算の配分を考えていくと困難と思われる。

長堀委員) 本来、公民館の事業なので運営委員を老人会の役員の方がやらなくてもいいとは思いますが、運営の主体が老人会になっているようだ。

秋元委員) 60歳を過ぎたばかりの方で老人会に入る人は少ないのでは。仕事をしている方もいるし、「老人」というと抵抗を感じる。JAではエルダーミセスとか名前に工夫がしてある。

木村館長) 会の名称は「老人会」ではなく、例えば「永楽会」や「福寿会」といった別の名前が使われている。

・ふるさとまつり援助

木村館長) 人的援助を中心に行っている。今回は55周年を記念した取り組みも行った。

長堀委員) まつりには幼稚園、小中高、特別支援学校と参加しており、素晴らしいことだが、主な内容の部分に、「高校」の記載が漏れているので追加してほしい。

・利用者の会活動援助

木村館長) 会議書類の準備など援助を行っている。23年度は震災の影響から利用者の会として「ちびっこあおむし」「怪皆亭」への援助を行えなかった。

・パソコン機器・図書資料の貸し出し

木村館長) 前年度から課題となっている図書コーナーについて、書棚を処分するなどの整理を進めた。クッションやマットを置いてキッズコーナーとして利用できるよう今後も要求していくが、23、24年度とも予算がつかなかった。

・なんばた青空市場

木村館長) J Aさん含め農業関係者の参加が増えた。今後もそうなるように働きかけていきたい。

・南畑地区公民館運営審議会

新井議長) 自分たちの活動を評価するのはおかしいので、あえて評価しないことにする。

・南畑公民館だより発行事業

新井議長) 他の公民館よりページ数も多く、編集作業も大変ななか、編集委員さんがよくやっているとは思いますが、取材がへったように感じていた。そうした中、菜の花まつりの取材に編集長が来てくれたのでうれしかった。これからも取材を増やしていくように公民館で働きかけてほしい。

・利用者懇談会

新井委員) 前回の事業評価で、公運審からの意見として「アンケートを行っては」と提案しているが、懇談会のあり方を見直してはどうか。また12月の大掃除(餅つき)のあとに利用者懇談会も行うが、開催時期を検討しては。

・南畑ぎやらりー

新井議長) 小中学生の作品を展示やれたらいい。さすがにふるさとまつりで展示した高校生の書道はうまい。富士見高校の美術部は専門の先生が教えているらしい。

秋元委員) 高校生の絵画の色使いが明るく感じた。友人の作品が展示されていれば、その友達も公民館に見にくるのでは。出品する側も励みになるのでは。

栗原委員) 高校生が施設を使いやすいようにできないか。そうすることで若いうちから公民館、地域につながりやすくなると思う。

長堀委員) 生涯学習の理念からいえば、「いつでも、どこでも、だれでも」学べるようにしていく必要があると思う。

・わくわく子ども体験室

木村館長) 初の試みとして「親子紙飛行機教室」を行った。講師の都合等もあり実施したのが寒い時期だった。今後は開催時期も考えていきたい。

新井議長) 公民館で企画して、協力してくれる団体にもちゃんと内容等について話をしているのよと思う。

・地区体育祭

新井議長) 公民館の援助がないとできないので、これからもお願いしたい。

・南畑お月見一座援助

木村館長) ふれあい劇場以外での援助・協力として行っているもので、今年度は鶴馬関沢集会所など10回程度、出前公演を行っている。

・その他

新井議長) 公民館ごとにメインの事業がいくつかあると思うが、南畑では「ふるさとまつり」がその一つだと思う。事前に催し物が重ならないよう調整すべきだ。

木村館長) 3. 11が起きたことで、ふるさとまつりの時期はいろんな催しが入ってしまうことが考えられるが、調整できるものはそのようにしていきたい。

新井議長) 今限りで任期満了となるが、3名の方には継続し、公民館の発展のためにご尽力いただきたいと思います。

※長堀委員、栗原委員、秋元委員とも継続していただける確認をとり終了となる。

